

はなくそ丸めて萬金丹

JJ1SXA/池

600年の歴史をもつ伊勢の伝統薬万病に効く、お伊勢さんの霊薬「萬金丹」は、「越中富山の反魂丹、鼻くそ丸めて萬金丹」という俗謡でも親しまれてきた、「萬金丹」は、「伊勢白粉(いせおしろい)」と共に、伊勢路の土産物として全国に広まりました。

お伊勢参りは江戸時代に庶民の間に広がり、村や町ごとに積立金で年一回代参を送り出す「伊勢講」といった風習が定着し、代参人は、荷物にならず、しかも実益ある薬ということで、お参りの土産物として萬金丹を選び、送り出した人々からありがたいと喜ばれた。

また、武士が腰に下げていた印籠の中にも萬金丹が入っており、懐中薬の代表でもありました。

その人気から、伊勢の萬金丹には多くの偽物が出現し、ひと頃30種類もの萬金丹が出回っているほどでした。

そのなかでも古い歴史をもつ、「野間萬金丹」は、かつて「靈方萬金丹」として知られ、野間家の言い伝えによると、祖・野間宗祐が室町時代の応永年間(1394~1427)に故郷・尾張国野間から仏地禅師に随行して朝熊岳の金剛證寺に移住し、その信仰の中で秘方を授けられ、創薬したのが萬金丹であったといわれています。

金剛證寺は伊勢神宮の鬼門を護る寺とされ、「お伊勢に参らば朝熊をかけよ、朝熊かけねば片参り」と伊勢音頭にも歌われたことでも知られており、金剛證寺で祈禱を終えた後、参詣の人々が多く買い求めたといわれています。

萬金丹は、江戸時代、旅の道中に常備する万能薬とされていましたが、主に胃腸の不調を改善するもので、その効能は、食欲不振、消化不良、胃弱、飲みすぎ、食べすぎ、胸やけ、胃もたれ、はきけ(胃のむかつき、二日酔い、悪酔、悪心)などとなっており、又、配合されている生薬には、下痢、腹痛にも効果があり、その用途は幅広いものでした。

昔ながらの伝統薬が、新しいカタチで注目を集める日も近いかもしれません。

…以上、「伊勢くすり本舗」のホームページより引用…

多くの偽物が出現し、ひと頃30種類もの萬金丹が出回っていたということで、「はなくそ丸めて萬金丹」なる言葉が出てきたのでしょうか。

早坂隆さんの「新・世界の日本人ジョーク集」より、…日本の有人ロケットが火星に着いた。安倍晋三首相は地表に巨大な日の丸を描かせた。次に中国のロケットが着いた。習近平国家主席は「日の丸の上から赤いペンキを塗れ」と指示し、中国国旗に変えさせた。最後に着いたのは米国のロケットである。トランプ大統領は言った。「上にコカ・コーラとでも書いておけ」…、外国企業の商品や技術に見境なく塗料をかぶせ「メイド・イン・チャイナ」と居直るコピー大国への当てつけだろう。

「はなくそ丸めて萬金丹」も、前記と大同小異かも知れない、本当は「はなくそ」では無く、無害物質で作った偽物だと思われるが、彼の国の製品は、必ずしも無害と言えないところが深刻な問題だろう、知的財産の侵害といい、外国企業への締め付けといい、横紙破りの商慣行で国土を肥やしてきた中国、今や、経済大国、軍事大国として世界を席卷する存在だ、それでも日本の政治家は、相変わらずモリカケで騒ぐ、憲法改正を含め、しっかり国を、そして国民を守るという視点に欠けていないか？本当に日本は大丈夫か？

「越中富山の反魂丹、鼻くそ丸めて萬金丹」のもう一方の、「反魂丹」を販売する、池田屋安兵衛商店のホームページに「和漢薬の世界」というのがあります。

…私たちが病気になると、西洋医学では抗生物質などで病原菌を退治したり炎症を抑えることで治療します、確かに劇的な効果が得られますが、その病気にかかりやすい体質まで改善されるわけではありません。

これに対して東洋医学は、病気になった原因の「体のシステムのひずみ」を正し、自然治癒力により健康を取り戻そうとします、病気にゆっくり効き、再発しにくい体質への改善を促す安全、安心さが和漢薬の特徴です。…なるほどと、頷ける内容です。

「野間萬金丹」には、伊勢国朝熊岳と入っている



文中に出てくる朝熊岳の金剛證寺(所在地:三重県伊勢市朝熊町548)



「朝熊岳」は、朝熊山南峰東腹にあり、「朝熊山」と呼ばれる場合がある
「朝熊山」は「アサマヤマ」と読む

JARLのビーコン「JA2IGY」のアンテナ(GP)も「朝熊山」に建っている